



スマートフォン用アプリケーション
i-Sight
取扱説明書

第 I 章 はじめに	2
1.1 i-Sightの紹介.....	2
1.2 主な特徴.....	2
第 II 章 インストレーション	3
2.1 システム動作環境.....	3
2.2 インストレーションガイド.....	3
第 III 章 操作と設定	4
3.1 アプリの起動.....	4
3.2 メニュー.....	5
3.3 デバイス管理.....	6
3.3.1 カメラ・NVRの追加.....	6
3.3.2 登録済みデバイスの編集.....	7
3.3.3 デバイスの削除.....	8
3.3.4 スピードテスト.....	8
3.4 ライブビュー.....	9
3.4.1 ライブ映像の表示方法.....	9
3.4.2 ライブ映像を停止する.....	11
3.4.3 ビデオストリームコントロールパネル.....	11
3.4.4 PTZ 制御.....	12
3.4.5 フィッシュアイコンコントロールパネル.....	13
3.4.6 アラーム出力制御パネル.....	14
3.4.7 クイック再生.....	14
3.4.8 お気に入りを表示.....	15
3.5 再生.....	16
3.5.1 再生を開始する.....	16
3.5.2 分割再生.....	18
3.5.3 トランスコーディング.....	19
3.5.4 フィッシュアイコンコントロールパネル.....	19
3.6 ファイルマネージャー(ファイル管理).....	20
3.6.1 ファイルプレビュー.....	20
3.6.2 ファイルのバッチ管理.....	21
3.7 プッシュアラーム.....	22
3.7.1 アラーム情報(アラーム通知).....	22
3.8 設定.....	24
3.8.1 新しいメッセージ通知.....	25
3.8.2 パスワード保護.....	25
3.8.3 ビデオパフォーマンス(通信モード).....	27
3.8.4 前回の接続を再開する(前回の接続).....	27
3.8.5 アスペクト比(画面比率).....	27
3.8.6 アラームビデオプッシュ(アラーム発生時の映像を見る).....	28
3.8.7 モバイルネットワークを記憶(2G/3G/4Gを使って再生しています。).....	28
3.8.8 ストリーム情報を表示する(ストリーム情報表示).....	28
3.8.9 Bnadwigth Saveing Mode.....	28
3.8.10 ヘルプ.....	28
3.8.11 アプリについて.....	29

第 I 章 はじめに

1.1 i-Sightの紹介

i-Sight アプリは、ネットワークカメラや NVR のライブ映像や録画データの再生のほか、PTZカメラ等の操作、音声再生や双方向オーディオをサポートしたアプリケーションです。シンプルなユーザーインターフェースは直感的にライブビデオの表示、録画したビデオの再生など、ほとんどの機能に簡単にアクセスできます。

本マニュアルでは、ネットワーク環境での i-Sight の使い方および管理方法について説明します。

1.2 主な特徴

- ◇ ネットワークカメラと NVR の同時管理をサポート。
- ◇ Fisheyeカメラの補正表示をサポート。
- ◇ QR コードのスキャンによるP2Pデバイスの登録。
- ◇ クイック再生をサポート。
- ◇ 再生パフォーマンスを向上させるトランスコーディングをサポート。
- ◇ 分割再生をサポート。
- ◇ アラーム出力制御をサポート。
- ◇ アラームビデオプッシュ通知をサポート。
- ◇ カスタマイズされたストリームパラメータをサポート。
- ◇ 最大 64 チャンネル表示の 1/4/9/16 画面レイアウトをサポート。
- ◇ 最大 4 チャンネルの再生で 1/4 画面レイアウトをサポート。
- ◇ SD カードファイルと HDD ファイル内の録画データ再生をサポート。
- ◇ 画像キャプチャ/ビデオ録画機能をサポート。
- ◇ ファイル管理。
- ◇ H. 265/H. 264 ビデオ圧縮をサポート。
- ◇ デュアルストリームをサポート。
- ◇ iOS および Android ハンドヘルドデバイスをサポート。

第 II 章 インストール

2.1 システム動作環境

iOS: iOS 8.0 以降。

Android: Android 4.0 以降。

2.2 インストールガイド

iOS: App Store 上で「i-Sight」を検索、インストールします。

Android: Google Play上で「i-Sight」を検索、インストールします。

iOS端末からは以下のリンクからアプリをダウンロードできます。

<https://apps.apple.com/jp/app/i-sight/id1273957245>

Android 端末からは、以下のリンクからアプリをダウンロードできます。

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com>

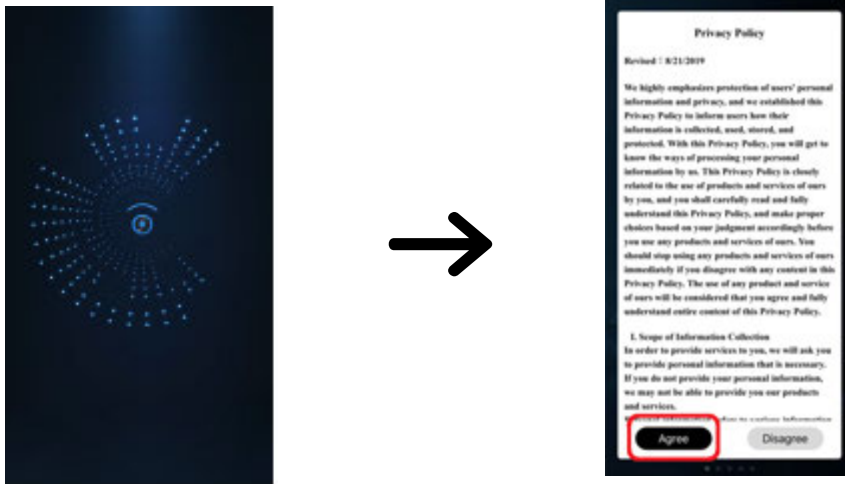
第 III 章 操作と設定

3.1 アプリの起動

👁️をタップし、i-Sight アプリを開きます。

初回起動時のみ、アプリ起動後にプライバシーポリシー確認メッセージが表示されます。表示されたプライバシーポリシー下部の「Agree」をタップします。

また、カメラやマイク等のスマートフォン側の機能を使用する際、確認メッセージが表示された場合は「はい」または「いいえ」のいずれかを選択します。



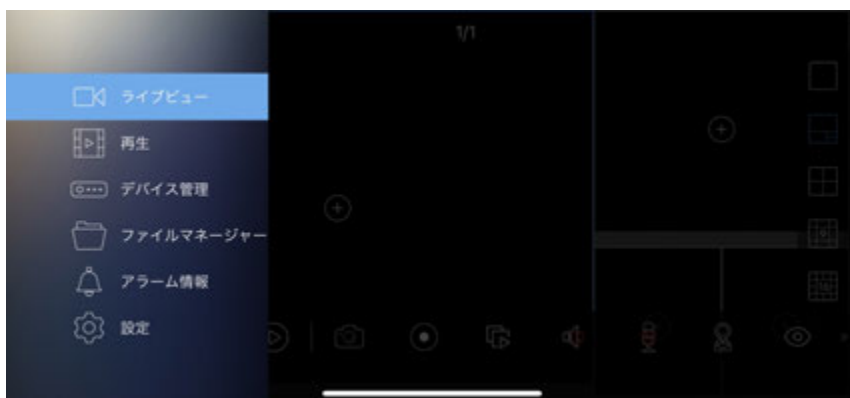
「Agree」をタップ後、下記機能紹介画像が表示されます。

右から左にスライドさせページをめくり、最後のページで再度、右から左にスライドさせるか「Skip」をタップすることで、Live View画面を表示します。









3.2 メニュー

☰をタップするか、または画面の左端から右にスライドしてメニューをポップします。また、端末横向きに回転した状態でも、アプリを操作できます。



メニューでは、ライブ/再生/デバイス管理/ファイルマネージャー/アラーム通知/設定を選択できます。詳細は以下の表のとおりです。


アイコン	説明
 ライブビュー	ライブビデオを表示します。
 再生	録画映像の検索、再生を行います。
 デバイス管理	カメラと NVR の追加/削除/編集を行います。
 ファイルマネージャー	端末上に保存した画像とビデオを管理します。
 アラーム情報	端末にプッシュ通知されたアラームメッセージを確認します。
 設定	アプリの設定を行います。

3.3 デバイス管理

3.3.1 カメラ・NVRの追加

1. 手動追加

ステップ 1: メニュー内のデバイス管理をタップし、デバイス管理画面を表示します。

ステップ 2: デバイス管理画面右上のをタップし、表示されたリストより「カメラ登録」または「NVR登録」をタップします。

ステップ 3: 機器名右側の「IPC (NVR) デバイス」をタップし、接続リスト上に表示する接続先名称を入力します。

ステップ 4: タイプ右側の値をタップし、IPアドレスや外部DDNSで接続する場合にはタイプ右側の値を「IP/Domain」に、P2Pで接続する場合には「P2P」を選択します。

ステップ 5: タイプの値を「IP/Domain」に設定されている場合は、「IPアドレス」、「HTTPポート」に登録するカメラのIPアドレスまたは、DDNSドメイン名とカメラで設定したHTTPポート(標準値: 80)を入力します。

タイプの値を「P2P」に設定されている場合は、レコーダーの「MACアドレス(1C:C3:16から始まる12桁の英数字)」の下6桁を入力するか、右側に表示される「QRコードアイコン」をタップし、スキャン画面を起動させ、カメラ及び、レコーダーに表示されるQRコードをスキャンします。
※初回QRコードスキャン時、カメラへのアクセス許可を行ってください。

※MACアドレスは製品の箱及び、製品自体に貼られている銘板シールまたは、カメラ及び、NVRのメニューから確認が可能です。

ステップ 6: ユーザー名に使用されるユーザー名を入力します。
(通常はadminをご使用ください。)

ステップ 7: 入力したユーザー名に対するパスワードを入力します。

ステップ 8: 各項目入力後、右上のボタンをタップし、保存します。

保存後、デバイス管理画面に自動的に戻り、デバイス管理画面上のリストに登録した接続先情報が表示されます。




2. QRコードによる追加

ステップ 1: メニュー内のデバイス管理をタップし、デバイス管理画面を表示します。

ステップ 2: デバイス管理画面右上の  をタップし、表示されたリストより「QRコード登録」をタップし、スキャン画面を起動します。

※初回スキャン画面起動時、カメラへのアクセス許可を行ってください。

ステップ 3: スキャン画面起動後、QRコードをスキャンします。



ステップ 4: スキャン後、「パスワード」以外の全ての値が自動で入力されます。空欄となっているパスワード欄にパスワードを入力し、画面右上の  ボタンをタップし、保存します。



※ユーザー名を変更する場合は、保存前にユーザー名を変更します。保存後、デバイス管理画面に自動的に戻り、デバイス管理画面上のリストに登録した接続先情報が表示されます。



3.3.2 登録済みデバイスの編集

デバイスの編集

ステップ 1: デバイス名右側にある  をタップ後、リスト下部に表示された「 Edit」をタップし、登録情報編集画面が表示されます。

ステップ 2: 編集する情報をタップし、編集後保存するには  をタップします。編集せずに終了するには左上の  ボタンをタップします。



3.3.3 デバイスの削除

1. デバイスの削除

ステップ1: デバイスマネージャーのインターフェースで、削除したいデバイス名をタップしたまま左にスライドすると、**削除** ボタンが表示されます。

削除 ボタンをタップすると確認メッセージが表示されます。
「Yes」をタップするとリストから削除されます。



ステップ2: デバイス名右側にある ... をタップ後、リスト下部に表示された「**削除**」をタップします。タップ後、表示された確認メッセージの「Yes」をタップすると削除を行います。



2. 一括削除

ステップ1: **≡** をタップし、「デバイスを削除する」を選択するか、リスト上の任意のデバイス名を長押しすることで、複数選択が可能となります。

ステップ2: 削除したいデバイスを選択します。
画面下部の **☑** をタップすることリスト上のデバイス全てが選択されます。

ステップ3: 削除するデバイス選択後、**削除** ボタンをタップします。
タップ後、確認メッセージが表示されます。
「Yes」をタップすると削除を行います。



3.3.4 スピードテスト



NVRをP2P登録している場合、通信速度を計測するスピードテストを行うことができます。

ステップ1: デバイス名右側にある ... をタップ後、リスト下部に表示された「スピードテスト」をタップします。タップ後、表示された確認メッセージの「OK」をタップします。
しばらく経過したのち、計測結果が表示されます。




3.4 ライブビュー


3.4.1 ライブ映像の表示方法

ステップ1: ライブビュー右上の  ボタンまたは、ライブビュー上、任意のチャンネルの  をタップし、デバイスリストを表示させます。

 をタップした場合は複数のデバイスが選択できます。

 をタップした場合は1デバイス(1カメラ)のみが選択できます。

表示されたデバイスリスト上からライブ表示させるデバイスを選択します。

この際、選択したデバイスがNVRの場合、左側の  ボタンをタップすることでNVRに登録されているカメラが表示され、カメラ単位で選択が可能です。

デバイス選択後、下部の「再生」をタップします。




ライブビュー操作パネル上のアイコンについては、以下の説明を参照してください。ライブビュー上の操作パネルをタップしたまま右から左、または左から右のようにスライドさせることで表示アイコンを切替えます。





アイコン	説明
	メインメニューボタン
	デバイスリスト表示ボタン
	ライブビューに1台のカメラを追加
	クイック再生モード切替ボタン
	画面分割変更ボタン
	スナップショットボタン
	録画開始/停止ボタン
	ライブ表示停止ボタン
	音声出力ON/OFFボタン
	双方向オーディオON/OFFボタン
	PTZ制御ボタン
	フィッシュアイコンtrolボタン
	アラーム出力ON/OFFボタン
	ビデオストリームコントロールボタン
	お気に入り表示
	デジタルズームボタン

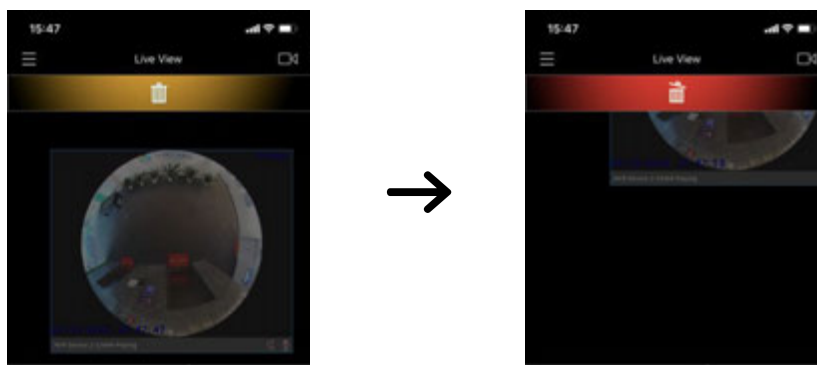
 **注意:**

- ① 任意のウィンドウをタップすることでカメラを選択することができます。
- ② 任意のウィンドウをダブルタップすることで、全画面モード(1画面表示)に切替えます。
- ③ マルチスクリーンモードで、ウィンドウの位置をドラッグ&ドロップで変更できます。
- ④ デジタルズーム機能はカメラ映像が表示されると自動的にONに設定されます。
デジタルズームがONに設定されている状態でピンチインで拡大、ピンチアウトで縮小します。拡大中にタップしたままスライドさせることで表示位置を移動させます。また、デジタルズームは最大16倍に対応しています。

3.4.2 ライブビューを停止する

すべてのライブビューを停止: すべてのチャンネルのライブビューを停止するには、 ボタンをタップします。

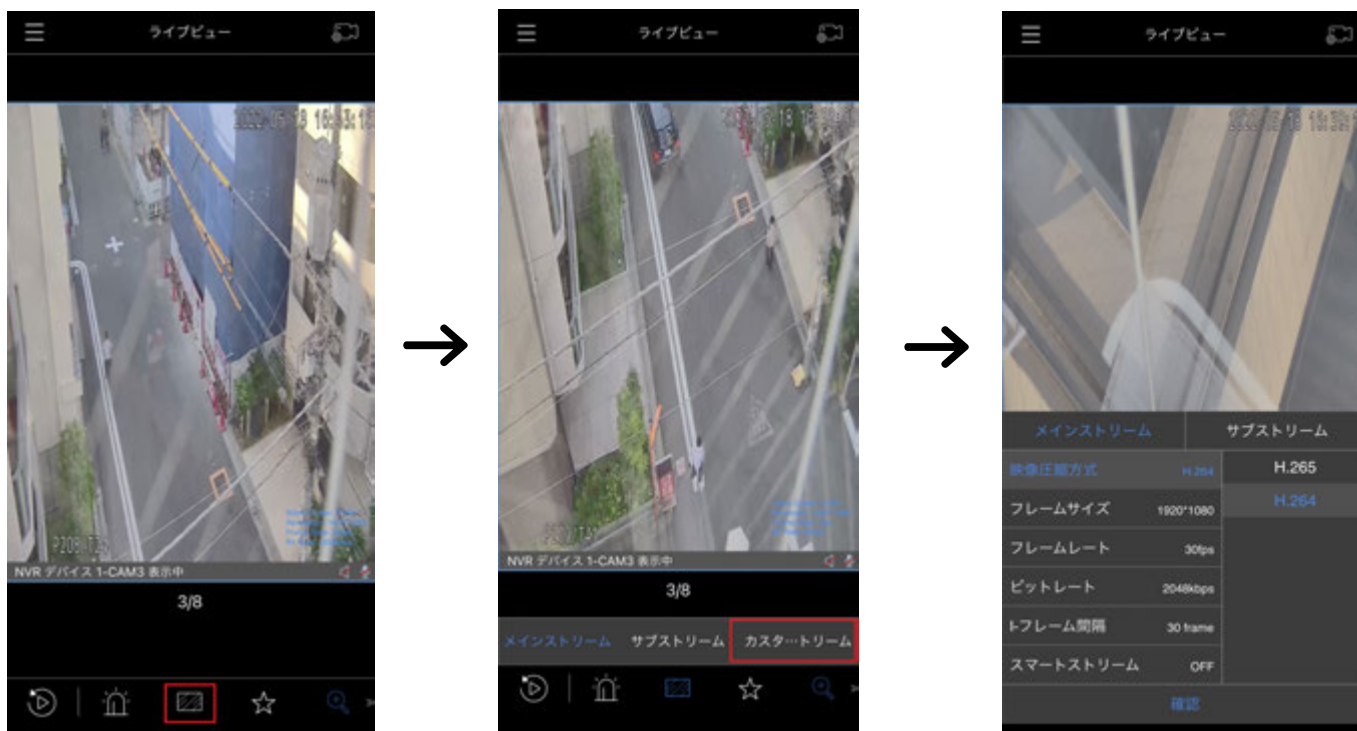
単一のライブビューを停止: ライブ映像を停止する映像を長押し、画面上部に  を表示させた状態で、押したまま  まで指を移動します。  が  に変わりましたら指を離します。



3.4.3 ビデオストリームコントロールパネル


ビデオストリームコントロールボタンをタップすることで、表示を行うストリームをメインストリームとサブストリーム、カスタムストリームから選択ができます。カスタムストリームでは、メインストリーム、サブストリームのフレームサイズ、フレームレート、ビットレート、I フレーム間隔、ビデオストリームのスマートストリームなどのパラメーターをカスタマイズすることができます。

※カスタムストリーム上で変更した設定はカメラの設定に反映されます。
変更する際にはご注意ください。



 注意: ビデオが滑らかでない場合は、ビットレートとI フレーム間隔を減らしてください。

3.4.4 PTZ 制御


 をクリックして PTZ 制御パネルを表示します。



PTZ 制御パネルのアイコンについては、以下の説明を参照してください。

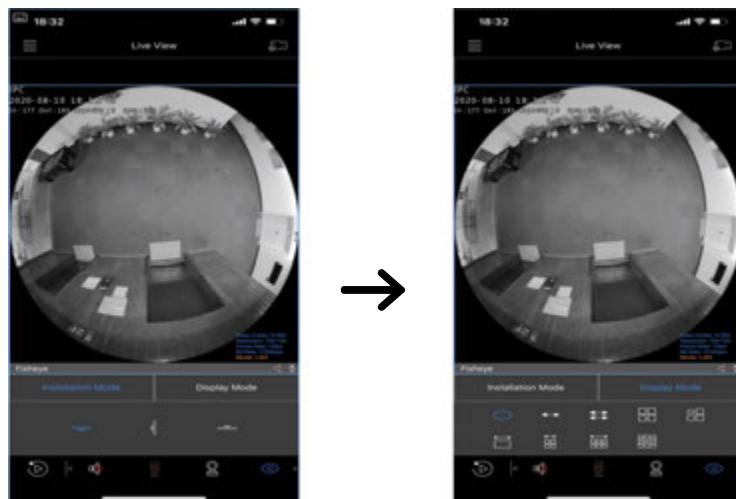
アイコン	説明
	オートスキャンを開始
	PTZ ホワイトLED点灯
	ズーム+/ズーム-
	フォーカス+/フォーカス-
	アイリス+/アイリス-
	プリセット番号選択
	プリセットを呼び出す
	プリセットを設定
	プリセットを削除

 **注意:**

- ① プリセットの呼び出し、保存は99 プリセット (01~99) に対応します。
- ②  を上下にスライドしてプリセット番号を選択します。
- ③ PTZカメラのパン、チルト操作は画面上をタップしたまま任意の方向にスライドさせることでカメラの向きを移動させます。
移動する長さはスライドさせた際の長さに依存します。
※パン・チルト移動は、反映されるまでタイムラグがございます。

3.4.5 フィッシュアイコンコントロールパネル

🎯 をタップし、フィッシュアイコンコントロールパネルを展開します。
Installation Mode選択後、Display Modeをタップし、表示を変更します。





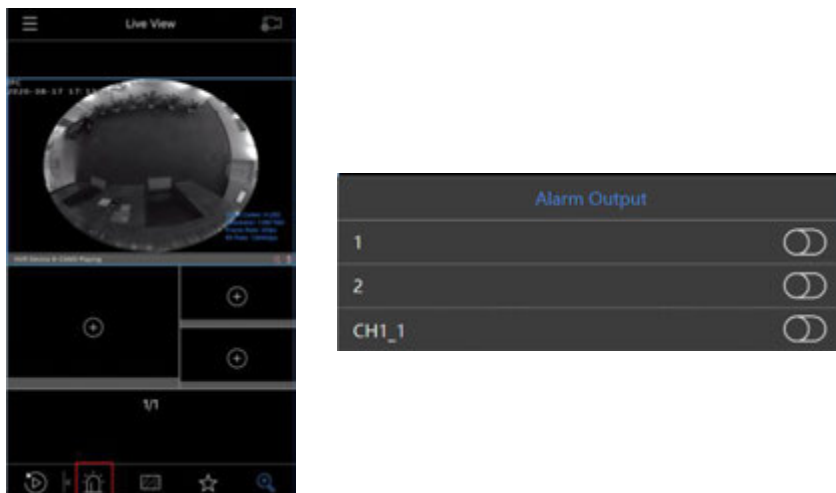
フィッシュアイコンコントロールパネルのInstallation ModeとDisplay Modeに関するアイコンについては、以下の説明を参照してください。

また、オリジナル表示以外の表示形式では、画面をタップしたままスライドさせることで、表示位置の移動を行うことができます。

アイコン	説明
	設置方法が天井取付けの場合に選択します。
	設置方法が壁面取付けの場合に選択します。
	設置方法が卓上設置の場合に選択します。
	オリジナルビュー表示に切替えます。
	360度パノラマビュー表示に切替えます
	2つの180度パノラマビュー表示に切替えます。
	4つの分割表示に切替えます。
	オリジナルビューと3つの分割表示に切替えます。
	180度パノラマビューと1つの画面表示に切替えます。
	180度パノラマビューと4つの分割表示に切替えます。
	180度パノラマビューと6つの分割表示に切替えます。
	1つのオリジナルビューと8つの分割表示に切替えます。

3.4.6 アラーム出力制御パネル

 をタップすると、アイコンが  に点灯します。その間、アラーム出力パネルがポップアップします。オンに切替えると、対応するアラーム出力がトリガーされ、カメラ、NVRで設定された時間だけオンに維持されます。終了するには他の部分をタップします。




 **注意:**

- ① 追加されたデバイスがカメラの場合、このカメラのアラーム出力数がアラーム出力の数を決定します。たとえば、2つのアラーム出力を備えたカメラの場合、アラーム出力のパネルには1つと2つが表示されます。
- ② 追加されたデバイスがNVRの場合、NVRの関連するアラーム出力が最初にリストされます。つまり、1、2などです。カメラのアラーム出力が、カメラのチャンネルと対応するアラーム番号に応じて、CHx_x (CH1_1 など) として表示されます。

3.4.7 クイック再生

クイック再生を行いたいカメラ映像をタップし、選択(青枠で囲まれた状態)し、

 ボタンをタップすると、現在の日付の古い録画データ(常時録画では00:00:00)から再生を開始します。



3.4.8 お気に入りを表示

お気に入りの表示は、現在の画面レイアウトと再生中のすべてのチャンネルを保存できる機能です。★をクリックして、「お気に入りを表示」コントロールパネルを表示します。



お気に入りの表示コントロールパネルのアイコンについては、以下の説明を参照してください。

アイコン	説明
	ビューを追加
	お気に入りの画面レイアウト
	お気に入りのビューを再生
	ビューを編集

お気に入りの名前を変更: お気に入りを長押しするとウィンドウがポップアップし、お気に入りの新しい名前を入力して[OK]をクリックします。

お気に入りの削除: お気に入り名を左にスライドすると、**削除**が表示されます。**削除** ボタンをタップすると、お気に入りを削除します。




3.5 再生

3.5.1 再生を開始する

ステップ1: メニューを開きし、「再生」をタップします。

方法1: 「再生」の  をタップし、検索メニューを表示します。



※選択可能なチャンネルは4つのカメラまでとなります。

方法2: 「再生」の  をクリックして検索メニューを表示します。

※選択可能なチャンネルは1つのカメラまでとなります。



デバイスリストインターフェースのアイコンについては、以下の説明を参照してください。


アイコン	説明
	再生画面に戻ります。
	検索を行う開始時間と終了時間を設定します。

再生を開始する前に、いくつかの条件設定を行います。


① 録画したビデオの開始時間と終了時間を設定します。

② 録画したビデオのメインまたはサブストリームから表示するストリームタイプを選択します。

※検索はメインストリームとサブストリームのいずれかのみとなります。

③  をタップし、すべて、スケジュール録画、イベントを含む動画タイプを選択します。

④ 再生したいデバイスを選択します。

※NVRの場合は  ボタンをタップし、再生を行うカメラを選択します。


⑤ ビデオを検索するには、各条件入力後、「検索」をタップします。




再生操作パネルのアイコンについては、以下の説明を参照してください。


アイコン	説明
	メインメニュー
	デバイスリストインターフェースに入る
	ライブビュー表示
	分割再生
	再生の開始/一時停止
	トランスコーディング
	選択したチャンネルの再生を停止する
	スナップショット
	録画
	再生速度変更ボタン
	Fisheye クライアント側の歪み補正
	4つの画面レイアウト
	スピーカー
	デジタルズーム


 **注意:**

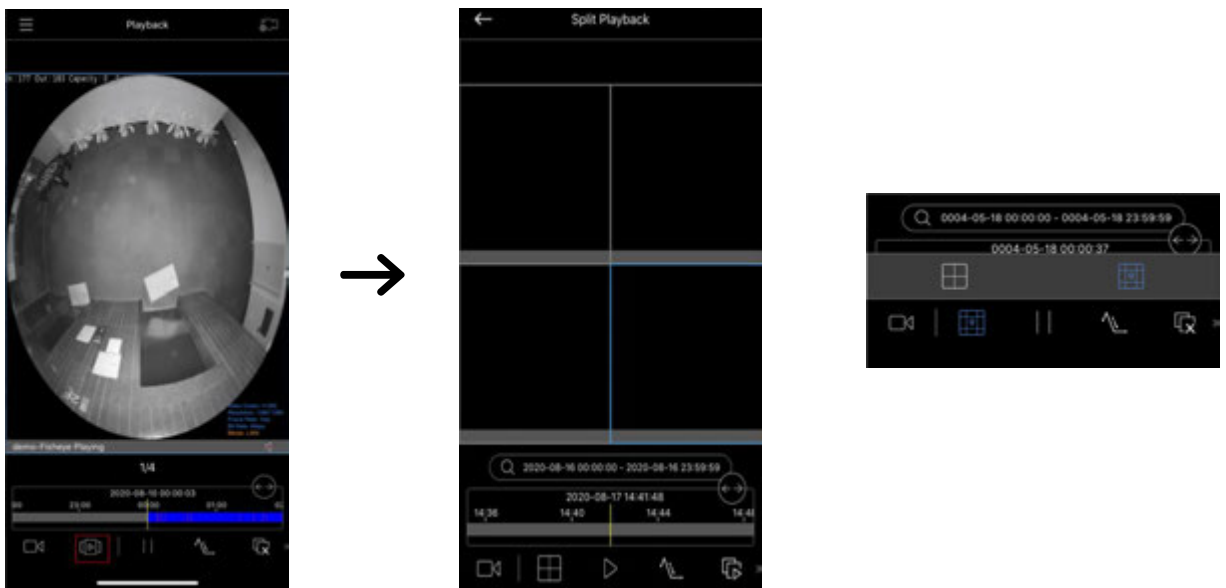
- すべてのチャンネルの再生は非同期であり、再生開始時間は録画データに依存します。
- また各カメラを選択することで各チャンネルのタイムバーが表示されます。
- タイムバーをタップしたままスライドさせることで再生時間を調整できます。
- 常時録画のみを設定した場合でも、モーション検知録画はタイムバーで赤色表示されます。
- 任意のウィンドウをダブルタップすることで、全画面モードに切替えます。
- チャンネルをタップしたまま任意の位置に移動することで表示位置を変更できます。
- 開始時間から終了時間までの期間は1か月を超えることはできません。
- 再生速度変更ボタンをタップすることで1/4X、1/2X、1X、2X、4Xの5つの再生速度に変更することができます。
- 再生タイムバーの拡大をサポートする方法は2つあります。 をタップし、表示されたスライダーバーでタイムバーの表示間隔を変更できます。また、タイムバーをピンチイン、ピンチアウトさせることでも表示間隔を変更できます。


3.5.2 分割再生

 をタップすると、分割再生に表示を切替えます。

現在のカメラの選択した日付の録画されている時間を4分割にし、同時に表示させます。また、分割再生中に  ボタンを選択する事で9分割表示に切替えも可能です。

 **注意:** カメラはこの機能をサポートできません。




 2020-05-12 00:00:00 - 2020-05-12 23:59:59 をタップすることで再生する範囲を変更することができます。



3.5.3 トランスコーディング


トランスコーディングは、記録されたストリームをより小さいサイズにトランスコードし、ネットワークの負荷を減らし、より優れた再生パフォーマンスを向上させます。



録画データ再生に中に、トランスコーディングするチャンネルを選択し、 ボタンをタップし、トランスコーディング設定パネルを表示します。ネットワークの状況に応じて、トランスコーディング、フレームサイズ、ビットレート、フレームレートを設定します。ネットワーク状況が悪いほど、トランスコーディングパラメータを低くする必要があります。各設定御、確認をタップし、トランスコードを有効にします。



3.5.4 フィッシュアイコンコントロールパネル

 をクリックして、フィッシュアイコンコントロールパネルを表示します。使用方法については3.4.5 フィッシュアイコンコントロールパネルをご参照ください。

3.6 ファイルマネージャー(ファイル管理)








ファイルマネージャー(ファイル管理)ではライブ表示中または録画データ再生中に行ったスナップショットや録画データの表示や管理を行います。


3.6.1 ファイルプレビュー

メニューを開き、ファイルマネージャー(ファイル管理)をタップします。表示されたファイルマネージャー画面上の任意の画像または動画をタップすると、選択した画像または、動画を全画面で表示します。




全画面表示中のアイコンについては、以下の説明を参照してください。

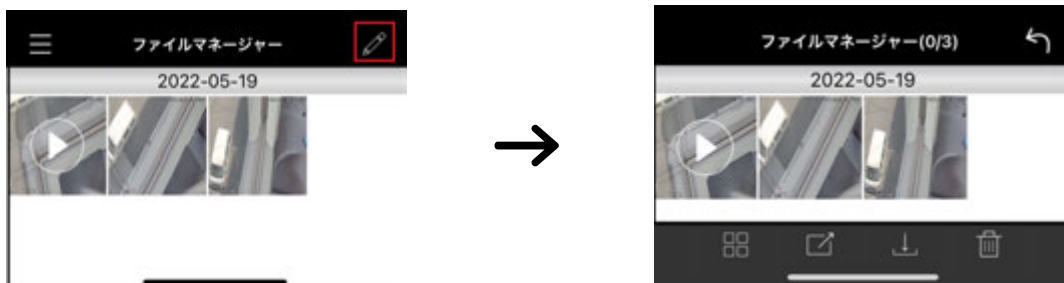
アイコン	説明
	全画面表示を終了し、リスト画面に戻ります。
	画像または動画を削除します。
	タップすると再生を開始します。
	再生/一時停止します。
	再生中にスクリーンショットを保存します。 (Androidのみ)
	再生速度を下げます。
	再生速度を上げます。



全画面表示中に  をタップすることでサムネイルが表示され、スライドさせることで保存されている画像または動画を表示します。(Androidのみ。)







3.6.2 ファイルのバッチ管理

 をタップし、バッチ管理に切替えます。



バッチ削除：削除するファイルを選択するか、 をタップし、すべてを選択します。削除するには  をタップします。

バッチエクスポート：エクスポートするファイルを選択するか、 をタップし、すべてを選択し、 をタップ後、選択したファイルを必要なアプリケーションにエクスポートします。

バッチ保存：ファイルを選択するか、 をタップしてすべてを選択し、 をタップして選択したファイルを端末上に保存します。(iOSのみ)



注意：

- ① Android の場合、すべてのスナップショットはフォトで表示することができますが、動画はフォトにエクスポート(アップロード)する必要があります。



3.7 プッシュアラーム

プッシュアラームはNVR上でプッシュメッセージの設定を行っている場合、登録イベントが発生時にスマートフォンにポップアップ通知を送信する機能です。

3.7.1 アラーム情報(アラーム通知)

メニューを開き、アラーム情報(アラーム通知)をタップします。



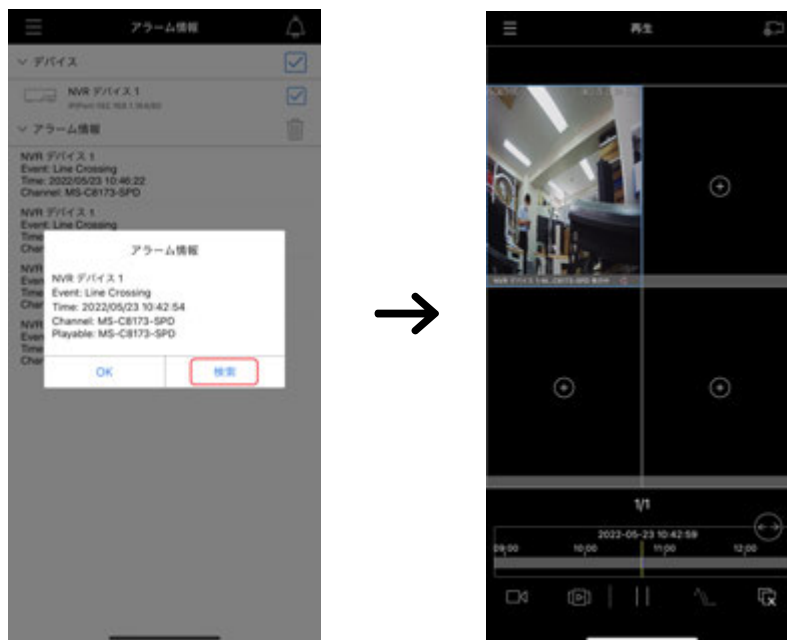
アラームプッシュの有効化:  をクリックしてアラームプッシュ設定画面に入ります。プッシュアラームを使用するデバイスの  ボタンをタップし、プッシュアラームを有効化します。
※プッシュアラームの有効化は端末毎に設定が必要です。



アラームメッセージの確認: アラームメッセージインターフェースで、>をタップするとアラーム情報(アラーム通知)下部に受信したアラーム情報が表示されます。
複数デバイスでアラームプッシュ機能を使用している場合、デバイス名右側の ボタンにチェックを入れることでチェックを入れたデバイスのアラームのみを表示します。



アラームビデオ再生: アラーム情報(アラーム通知)上のアラームをタップすると詳細が表示され、表示された詳細内の「検索」をタップすると該当時間の録画データの検索、再生を行います。



3.8 設定

設定ではi-Sightアプリの設定を行うことができます。
設定を行うにはメニューを開き、設定をタップします。



iOS



Android

3.8.1 新しいメッセージ通知

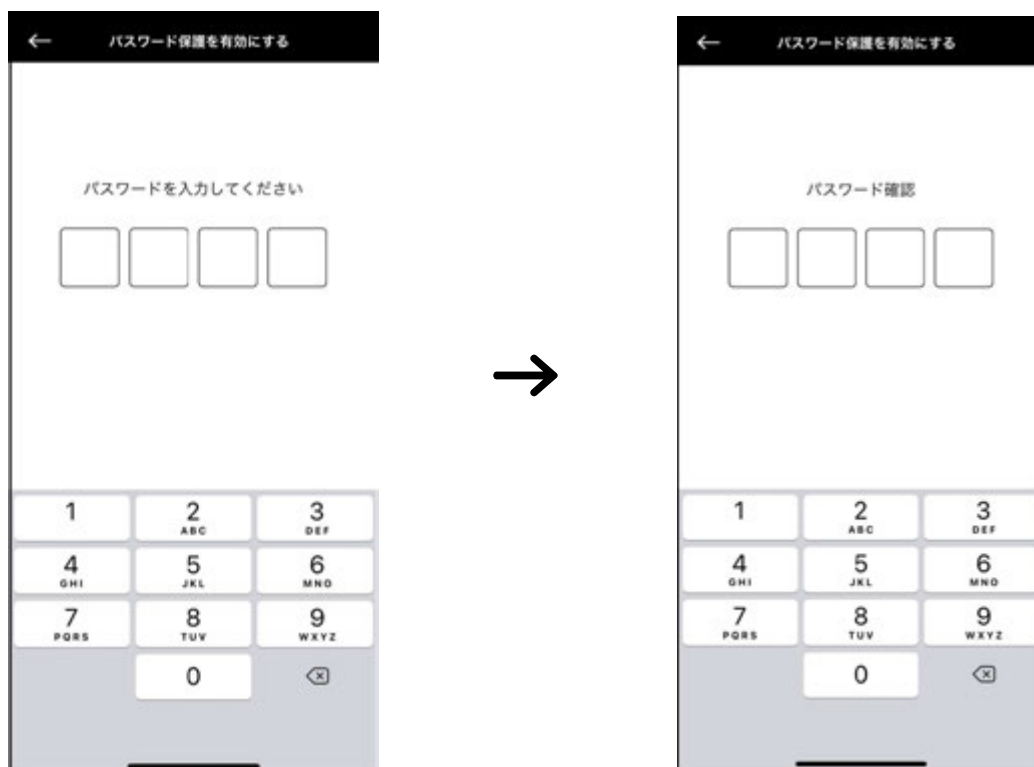
この設定は iOS 端末のみ表示されます。
アプリの通知設定のON/OFF状態が表示されます。
通知の設定は「設定」→「通知」にて設定を行います。

3.8.2 パスワード保護

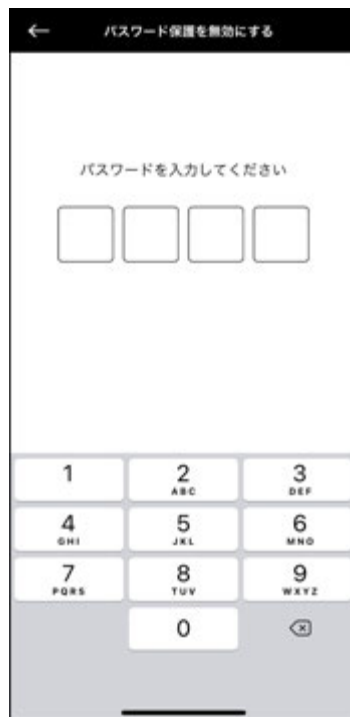
「パスワード保護」をタップして、パスワード保護設定画面に入ります。
設定するとパスワードはアプリ起動時にパスワード入力画面が表示されます。



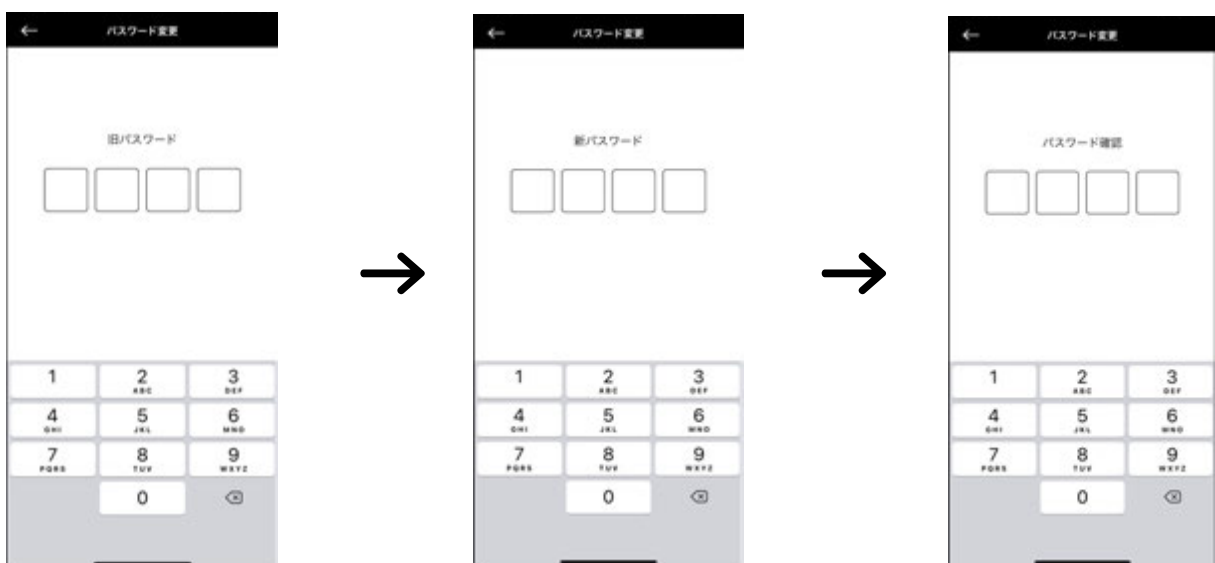
パスワード保護を有効にする：「パスワード保護を有効にする」をタップすると4桁のパスワード(数字のみ)入力画面が表示されます。数字ボタンで登録を行う4桁のパスワード入力します。パスワード入力後、パスワード確認画面が表示されます。先ほど入力したパスワードを再度入力することで、パスワードが登録されます。



パスワード保護を無効にする：「パスワード保護を無効にする」をタップするとパスワード入力画面が表示されます。登録しているパスワードを入力する事でパスワード保護を無効にします。



パスワード変更：パスワード変更をタップすることで登録済みパスワードを変更します。パスワード変更タップ後、登録済みのパスワードを入力し、その後、新しいパスワードを入力します。新しいパスワード入力後、パスワード確認に再度、新しいパスワードを入力し、パスワード変更が完了します。



3.8.3 ビデオパフォーマンス(通信モード)

ビデオパフォーマンスでは映像表示を「自動モード」または、「通信優先モード」、「画質優先モード」から選択します。

通信優先モード：通信を優先し映像表示を行います。

自動モード：通信状況に合わせ、通信優先または、画質優先を自動で選択します。

画質優先モード：通信状況に関わらず、画質優先で表示を行います。



3.8.4 前回の接続を再開する(前回の接続)

前回の接続を再開するの設定を行うことで、アプリ起動時に、最後に接続した接続先に自動接続の設定を行います。

再接続しない：アプリ起動時に再接続を行いません。

いつも最再接続する：アプリ起動時に前回接続した接続先に自動で接続を行います。

毎度確認する：アプリ起動時に接続可否のメッセージを表示します。



3.8.5 アスペクト比(画面比率)

カメラ映像の表示方法を画面いっぱい合わせる「リサイズ」とカメラ映像のそのままの「オリジナル」から選択を行います。



3.8.6 アラームビデオプッシュ(アラーム発生時の映像を見る)

ONに設定することでアラーム情報(アラーム通知)時の、詳細に「検索」を表示します。OFFに設定した場合、詳細に「検索」は表示されなくなります。



3.8.7 モバイルネットワークリを記憶(2G/3G/4Gを使って再生しています。)

ONに設定するとWi-Fi以外での通信時にモバイルネットワークでの通信確認メッセージを表示させます。

3.8.8 ストリーム情報を表示する(ストリーム情報表示)

ONに設定すると、映像表示中に各カメラ映像の右下にストリーム情報を行います。

3.8.9 Bandwidth Saving Mode

ONに設定すると、通信帯域を抑え、安定した映像表示を行います。
この設定はP2Pでは反映されません。

3.8.10 ヘルプ

「ヘルプ」をタップするとアプリのヘルプ(英文)を表示します。

3.8.11 アプリについて

「アプリについて」をタップするとアプリのバージョン情報を表示します。

